

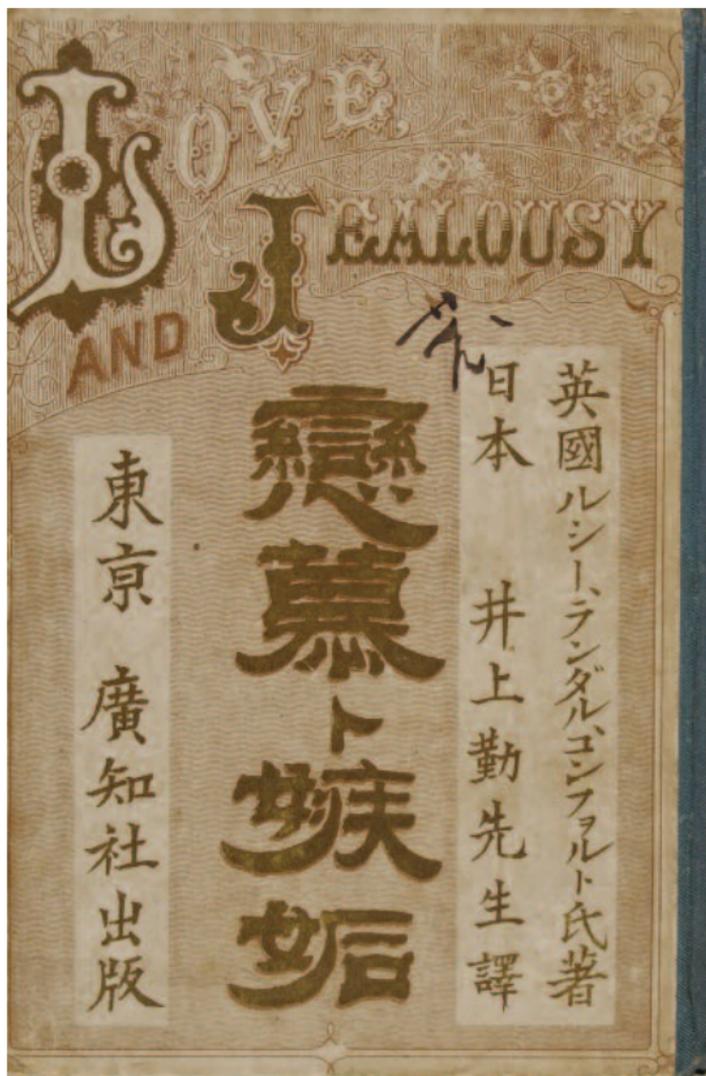
50. 新編浮雲 第一篇 (特別ボール表紙装釘)



62. 歐洲佳劇斷腸花



64.鏡花水月 (英國シェクスピア正本)



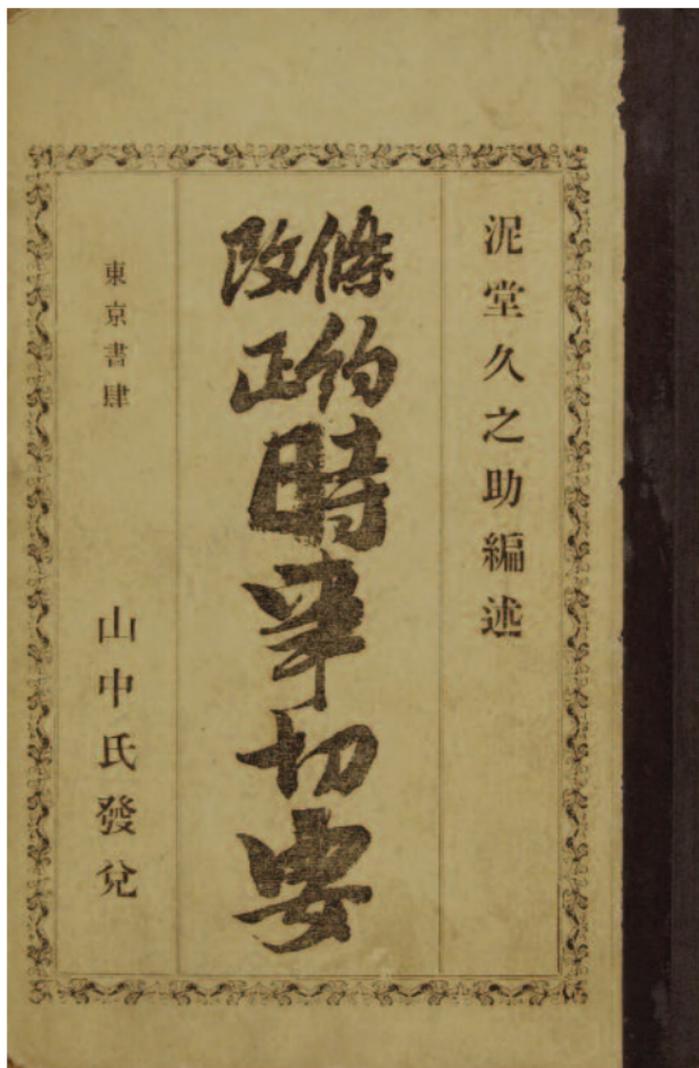
63.恋慕と嫉妬



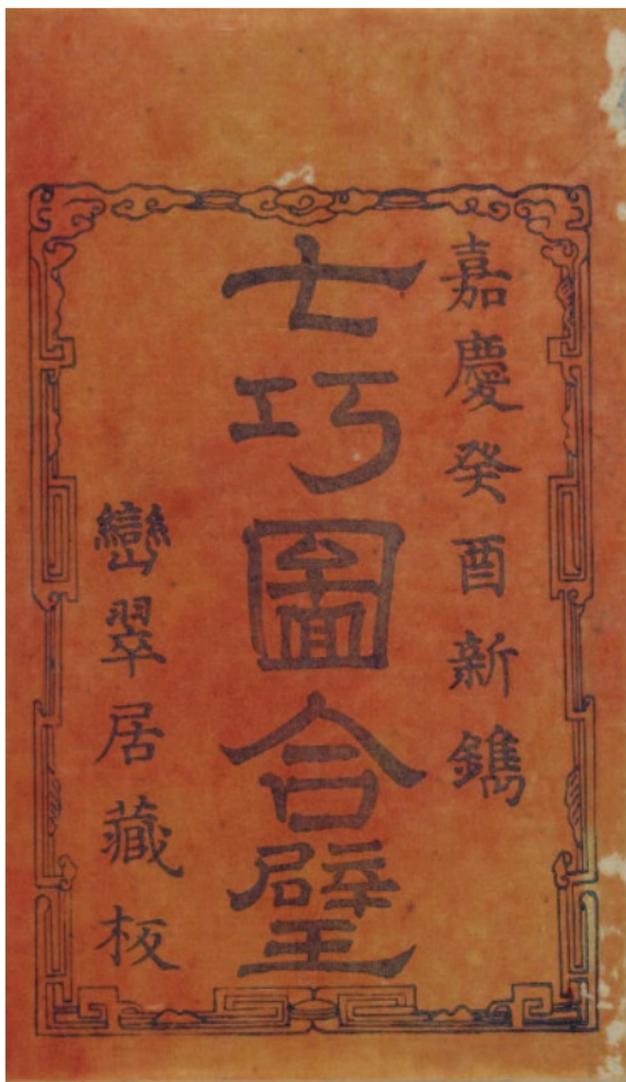
69. 警使者 (ジュール、バルヌ著)



49. 東髮案内 (渡邊鼎著・巖本善治刊)



121. 條約改正時事切要



1.七巧圖合璧 板附（天保十年刊）



1.七巧圖合璧 板附 (天保十年刊)

教相切紙拾遺徹上一

南無阿弥陀佛

往生之業
念佛為先

結前生後之事

徹上云此故本選擇集之題下雖有三重念佛

之義俱非觀念之念佛但是口稱念佛也故題

次文初置南無阿弥陀佛者即是結前生後也

結前者所謂結前題下三義俱是稱名也生後

者所謂為顯此集所列之一一章段亦皆稱名

之義也上相傳云十六章段一一皆南無阿弥

文六卷二

2. 教相切紙拾遺徹（古活字版）



4.長明海道記（渡邊千秋・フランクホーラー舊蔵）



 耳之底

 ●のちろよれこつねふあままこころ

 うーいあよれこつねふもくてもひり

 ちろまきくしおんこの人ねちふして

 のちろよれこつねふもくてもひり

 みのこれやふちふちふちふちふち

 てちろよれこつねふもくてもひり

 ちろまきくしおんこの人ねちふして

 のちろよれこつねふもくてもひり

 のちろよれこつねふもくてもひり





5.念仏安心耳之底 ひらがな

柳汀詩存

東京 馬場詔柳汀著

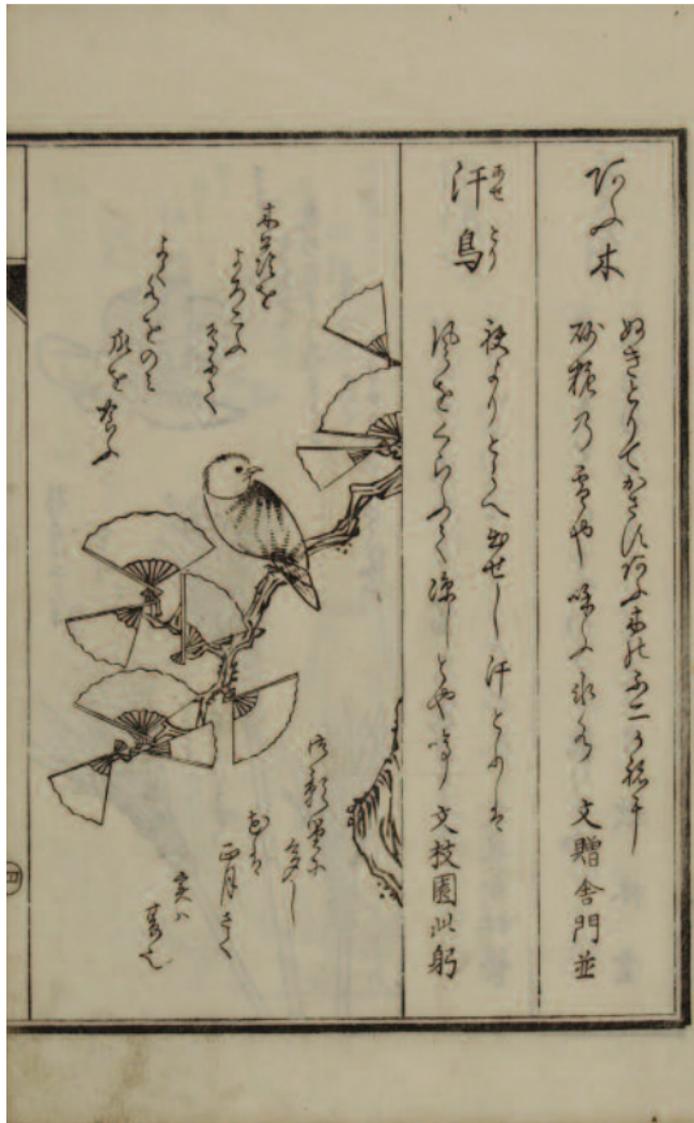
癸亥

震火大災紀事

地動轟然卓午天。瞬間處處起炎煙。皇王都大半乍焦土。
烈火不休三日連。
焰烟起處焰風狂。火勢炎炎不可當。天赤日失光如有食。

一七 狂歌見立化鳥 初編





阿木

ぬきとくちをひたす此ふ二う格千
砂粒乃 雲や 啼く 氷より 文贈 舎門 並

汗鳥

汗よりとくちをひたす
汗をくちくちとくちとくち
文枝園此躬

あまはな

よろこび

ささやく

よろこび

あまはな

汗鳥

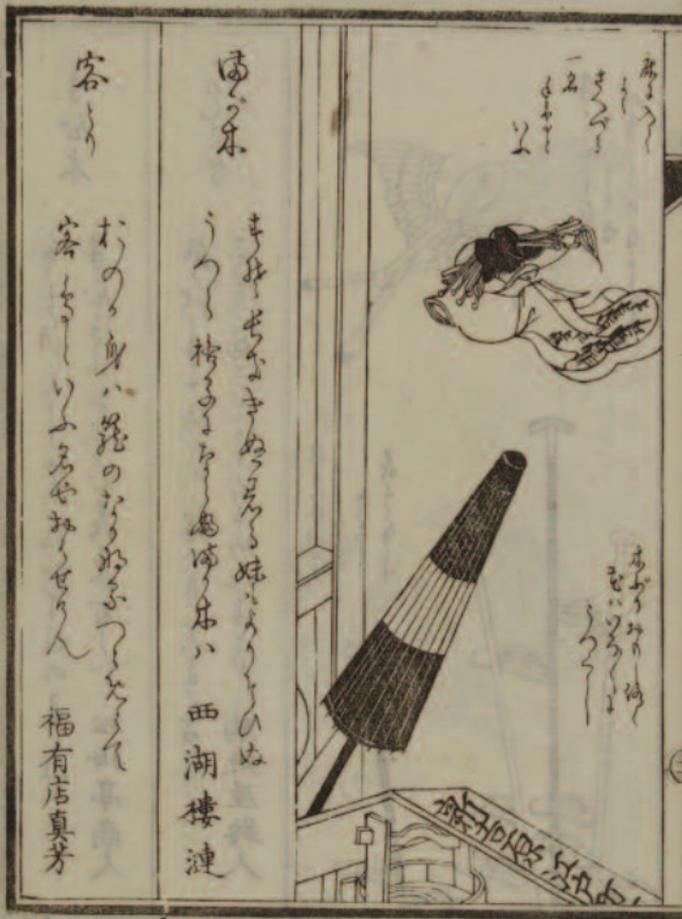
あまはな

西月

あまはな

あまはな

一七 狂歌見立化鳥 初編



反り木

小山田乃園いあまふれ煙るし舟
花のやうらよふやつきまゝり舟 金破樓網丸

宿

宿をさしつゝ井はりてふをさしつゝらん
かたをかつとむる宿より 蝶舞窗見揚

並木

並木

一ねさき

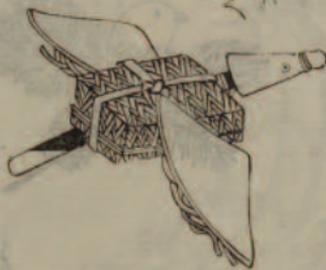
のけさた

さき

さき

さき

さき



道中まげの舟と
あつちりつゝ人の
あつちりつゝ舟
あつちりつゝ舟

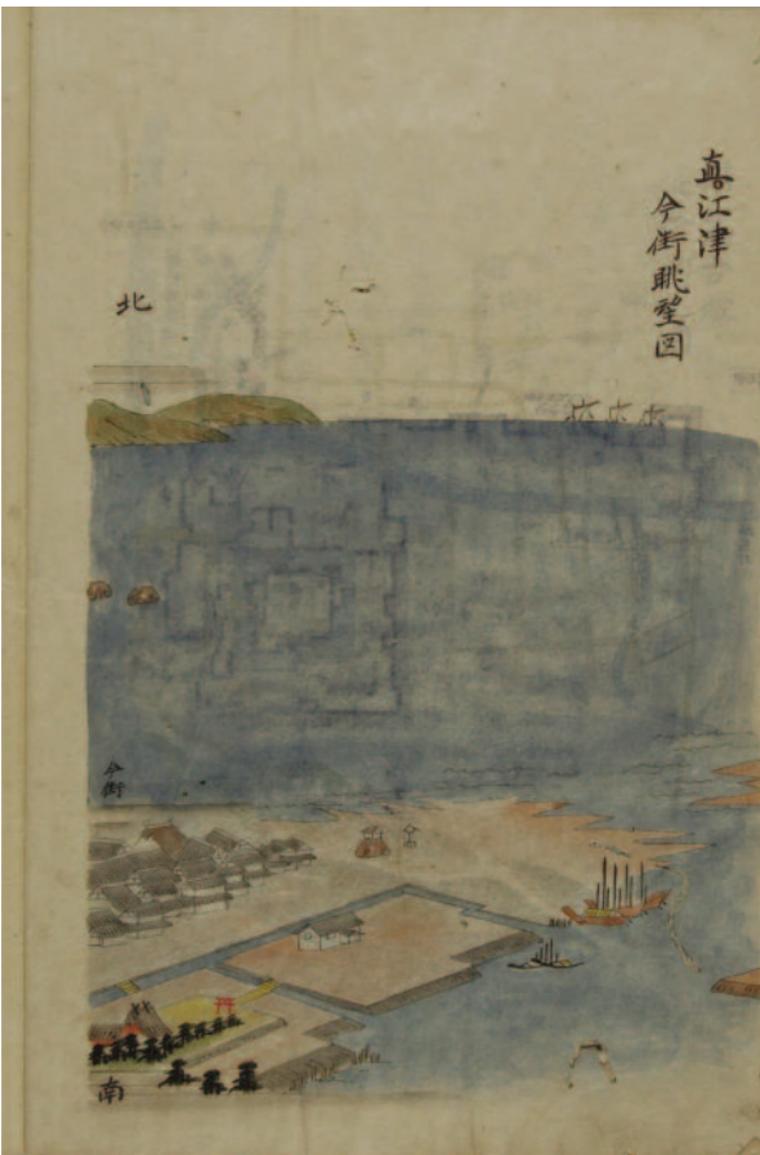


27.重訂萬國全圖（大學南校板）



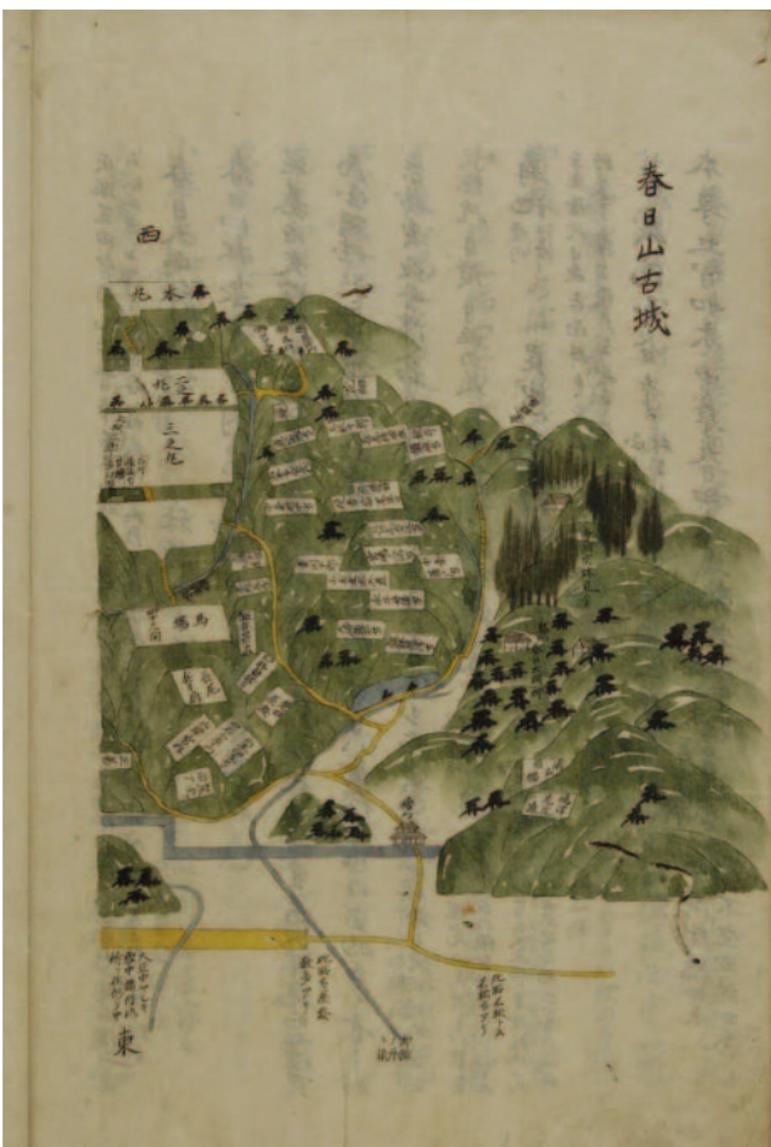
26. 袖玉御江戸繪圖 (原應子感圖・寶曆九年刊)

二五 越後名所誌 頸城郡





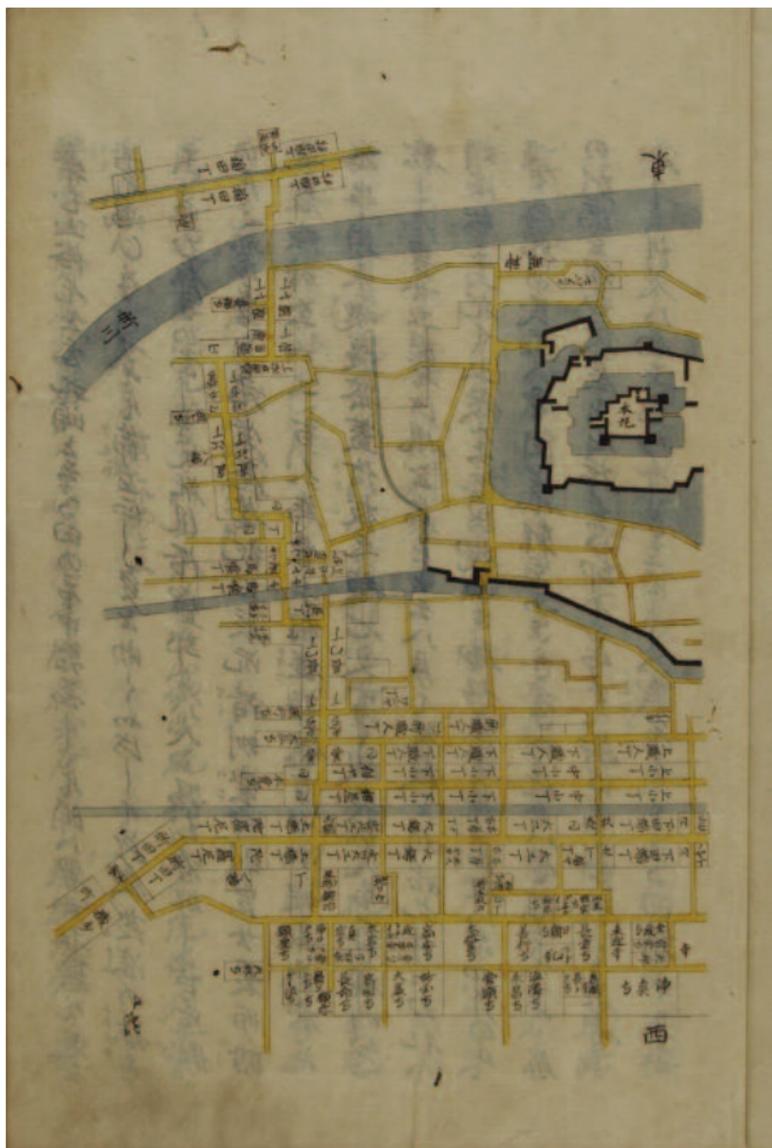
二五 越後名所誌 頸城郡





二五 越後名所誌 頸城郡







29.野口英世宛書簡及寫真他關係資料 (石塚三郎舊藏)



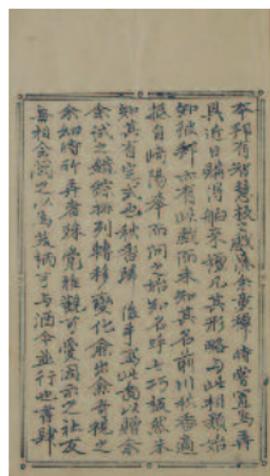
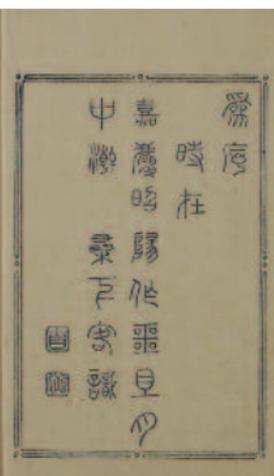
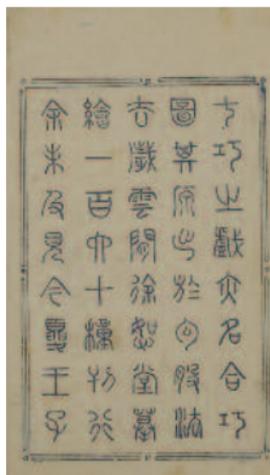
29.野口英世宛書簡及寫真他關係資料 (右/石塚三郎)

一 七巧圖合璧 板附 積書堂梓 天保一〇年刊 小二冊・板七枚 四五〇、〇〇〇

― 清碧梧居士原本。桐箱元帙入。原裝題簽三分剥落。康熙綴。八・九頁參照
七巧圖ハ歐洲デハタングラムト呼バレ、シルエツトパズルノ中デ非常ニ

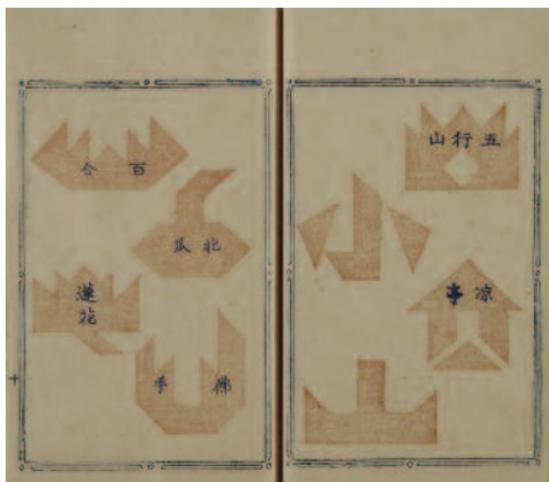


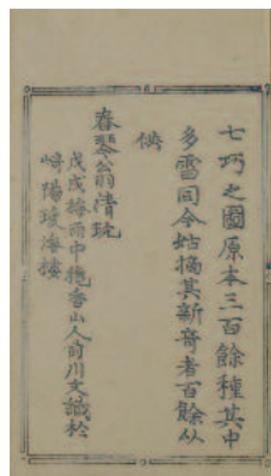
有名ナモノノ一ツデ中國デ考案サレタ知育玩具ト云ウ。最モ古イ文獻ハ本書ノ原書トナッタ一八〇三年（嘉慶八）ノ『七巧圖合璧』トスル。本書ハソノ約三五年後ニ出版サレタ和刻本。アプリトモ云ウベキ解説書ト七枚揃ウ板ヲ収メル元帙ニハ爪モ備ワル完璧ナ傳本デアル。國會圖書館ニハ明治一六年ニ芳文閣カラ出版サレタ後摺トオモワレル傳本ガ所藏サレテイルガ、巻頭ノ序文二丁ガ無ク、末尾三丁ナドニ異同ガアル。



積善堂主人請上梓以公於世；工亦有為
 我輩一因亦者各置一式以加酒間吟詠豈
 不勝饜飲酒餘束手而坐乎主人慧眼炯
 先識此致必投樽刻刻其用智之捷妙謂
 更妙于七巧外可也
 已取仲春清明後三日雅道人書于小室間
 而融 禮畫

七巧之板不知何人所創其實戲猴巧中之
 巧者也然式亦甚多採微之已成搭思出奇
 是圖新之未成莫於度匠造集也不擇
 對偶知與不知人；用之辨類微之其於
 贈起舖條也不稍任伴；元室靜點之可以
 自慰岑寂夫是世之弄此取清其巧
 者也未則更有自以為巧為者生其拙





二 教相切紙拾遺 上卷

原裝書キ題簽

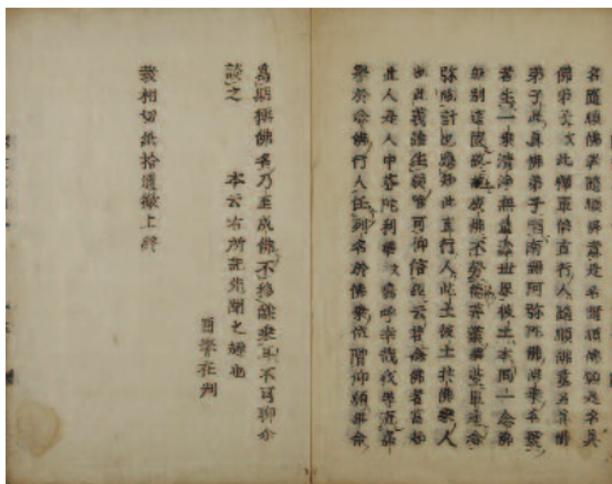
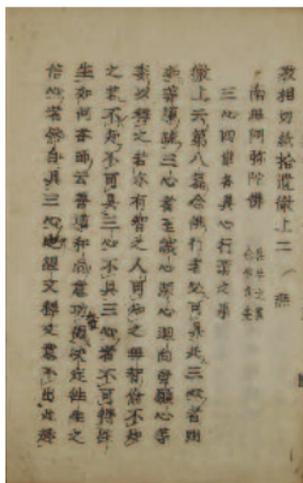
刊年不明

大二册

六〇、〇〇〇

—古活字版。下卷欠。版心「徹六通上一十三」。寬永年中刊。聖聰著。

一〇頁參照

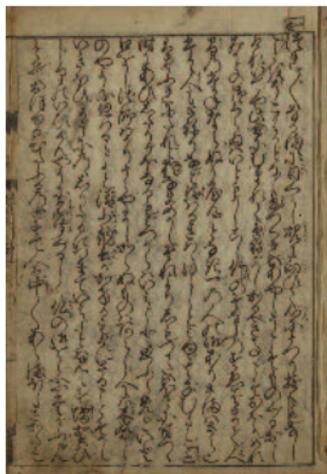


在隨順佛菩薩顯昇意是名隨順佛顯是名具
 佛學矣文此釋軍佛古行人隨順顯意是名具
 弟子此具佛弟子恒南無阿彌陀佛摩訶訶
 若生一乘清淨無量壽世尊供土本國一念勝
 無別遠段既成佛不勞能乘業乘業乘業乘
 殊勝計思應知此直行人此土彼土共佛乘人
 如此我隨生親實可仰信我云皆為佛者區如
 此人每人中答陀利華文露呼幸哉我學流嘉
 學於乘佛行人任列希於佛乘位隨仰願非命

為顯稱佛者乃至成佛不修餘乘耳不可聊介
 談之 本云右所記先聞之變也 聖學在判

教相切紙拾遺 上卷

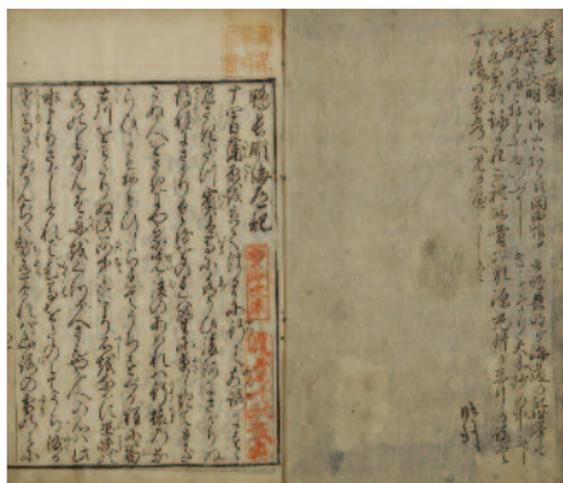
三
— 新板
— 繪入つれづれ草 上卷（下巻欠）
— 表紙破レ傷ミ



簽
刊年不明 大二册 一〇、〇〇〇

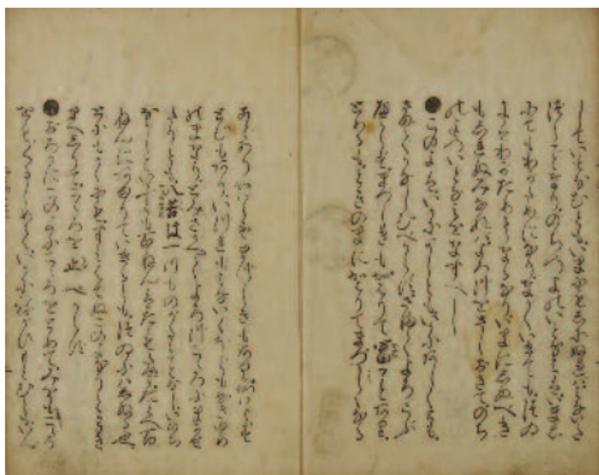
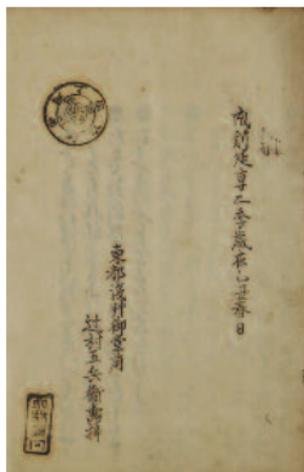
四 長明海道記 上下巻 簽 寛文四年辟曆十一月吉日刊 大二册 二二〇、〇〇〇
―内題「鴨長明海道記」。渡邊千秋及フランク・ホーレー舊藏本。

一一頁参照



五

安心耳之底 ひらかな 箒 延享二季歳在乙丑春日 大一冊 八五、〇〇〇
— 東都淺艸御堂前 / 辻村五兵衛壽梓 柱題「み、のそこ」 一二頁参照

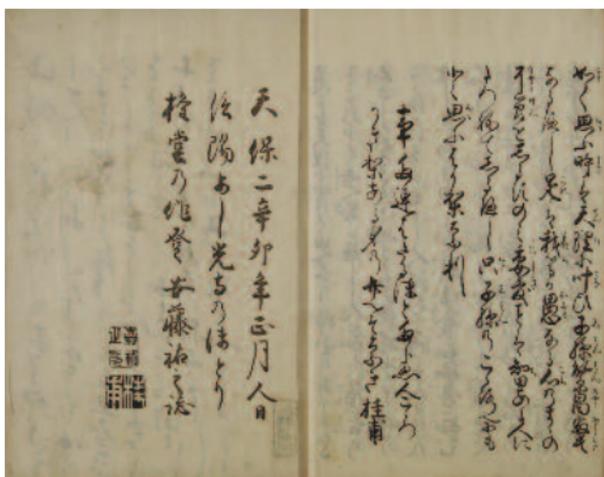
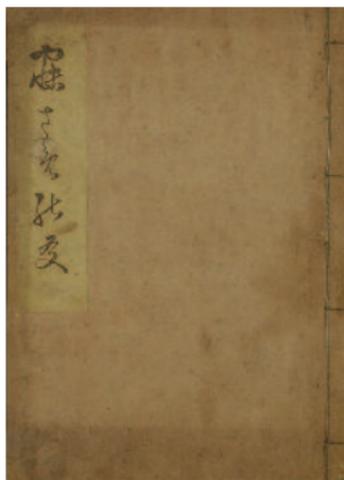
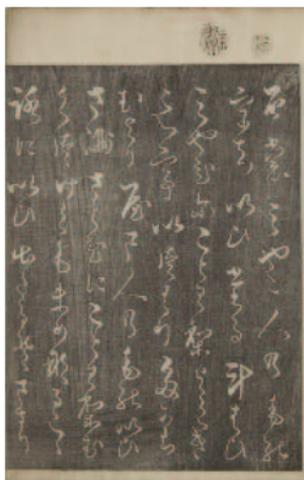


六 寐さ免の友

籤 安藤祐之自跋

天保二年正月刊

大ニ冊 三〇、〇〇〇



七
| 蟬小川 中下卷（上卷欠） 簽 長谷川妙躰書 無刊記 大ニ册 二〇、〇〇〇
『國書』ニヨレバ享保一八年刊



八
年中祝事の始

箴 大納言顯朝卿

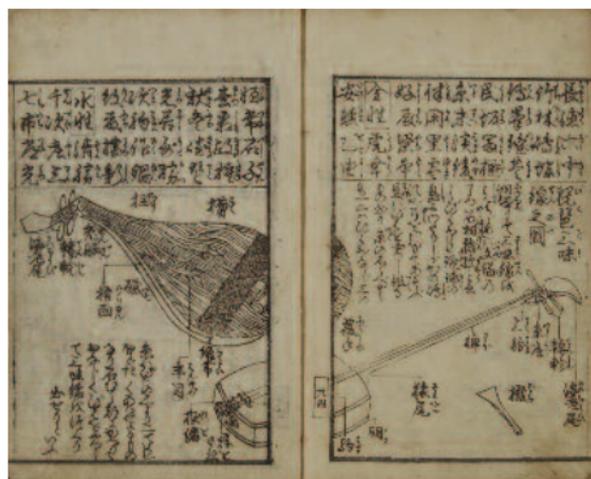
文化六年正月刊

極小二冊 三五、〇〇〇

―内題「年中祝事の始婦人心得草」。

書林／永壽堂／西村屋與八・甘泉堂／和泉屋市兵衛。





九 樂訓 上中下卷

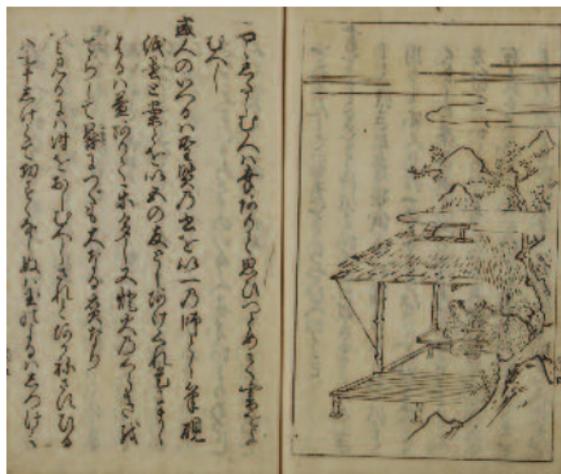
— 益軒貝原篤信書

台本

簽擦レ

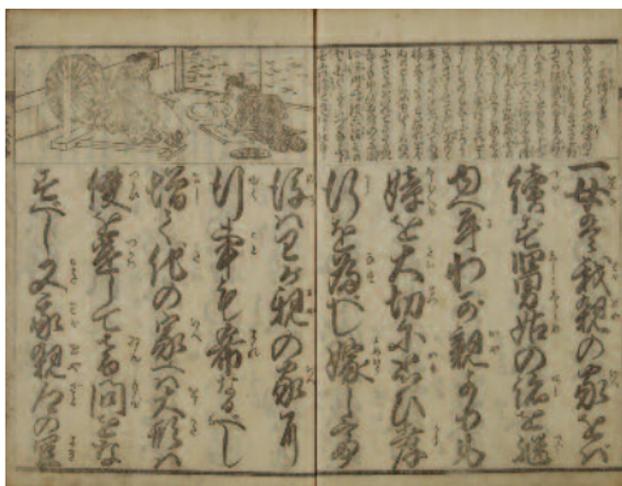
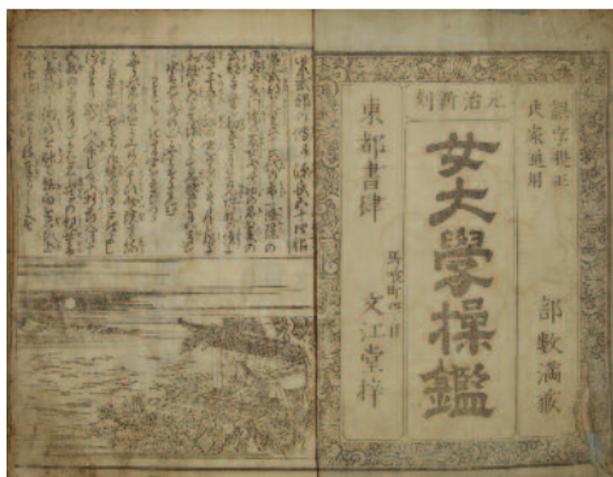
寶永八年跋

半二册 一〇、〇〇〇



一〇 分限心之的 前後編 元合本 天保一四・一五年序刊 中二册 二五、〇〇〇
—好美堂序 題簽欠





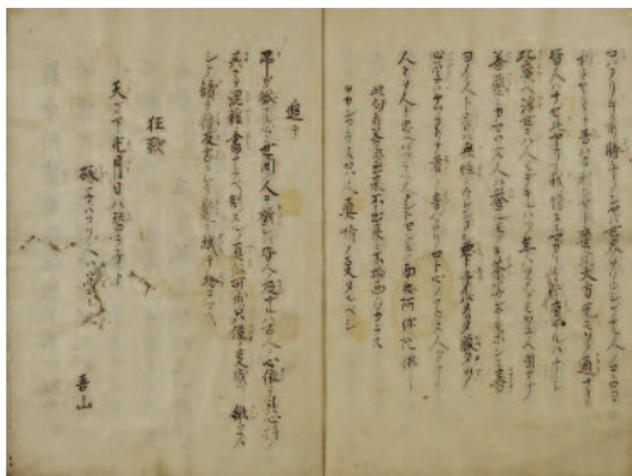
二二 翫夢之中

寫本二二丁

末尾少虫

江戸後期寫

大二册 一〇、〇〇〇



一三 工夫の近道



寫本五三丁 江戸末期寫

工夫の近道
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、

工夫の近道
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、

工夫の近道
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、
 一抄の近道は、

中横二册 一五、〇〇〇

一四 川村碩布画讃扇面（白雄門、春秋庵四世）
 一五 小簗庵・叩雪庵撰句合摺物 催主／一調



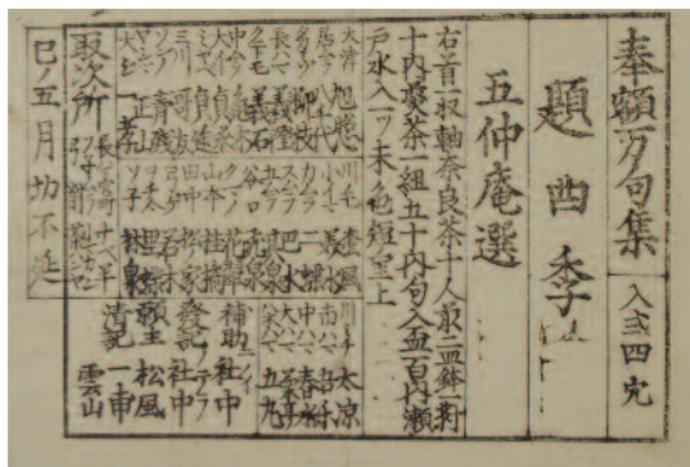
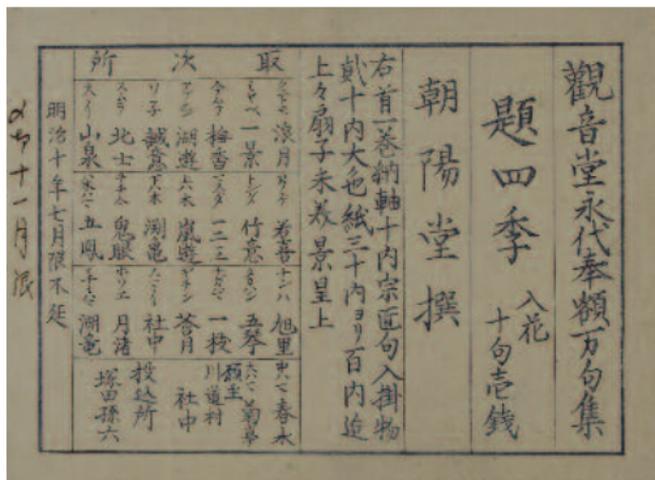
天保九年刊

一面 一〇、〇〇〇
 一枚 一〇、〇〇〇

一六 朝陽堂九起・五仲庵有節他撰近江地方發句會興行チラシ

―木版三七枚。活版三二枚（ダブリアリ）。肉筆四枚。明治初期〜末年。

七三枚 二二〇、〇〇〇





朝陽堂九起—芭蕉堂五世北村九起。京都東山双林寺芭蕉堂ニ住シタ俳人。
後ニ万寿庵中朝陽堂ニ移居スルト云ウ。
五仲庵有節—沢有節。信州上田ノ人ト云ウ。京ニ上リ鳥丸西ニ住シ、初
メ確嶺ニ就キ後蒼虬ノ門ニ入ト云ウ。

一七

狂歌見立百化鳥
夕顔亭元來編

初編

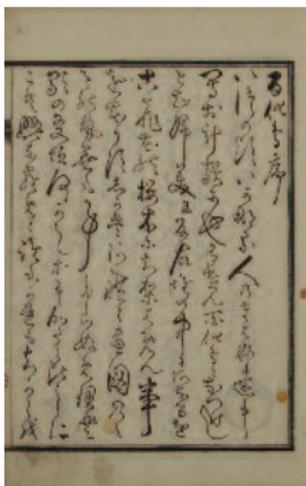
籤

文化二一年序刊

半一册

二八〇、〇〇〇

一四、一七頁参照



鳥 文 聲 音 華 不
香 色 空 佛 理 丹
舟 成 借 問 何 人
紙 寫 出 竊 疑 烏

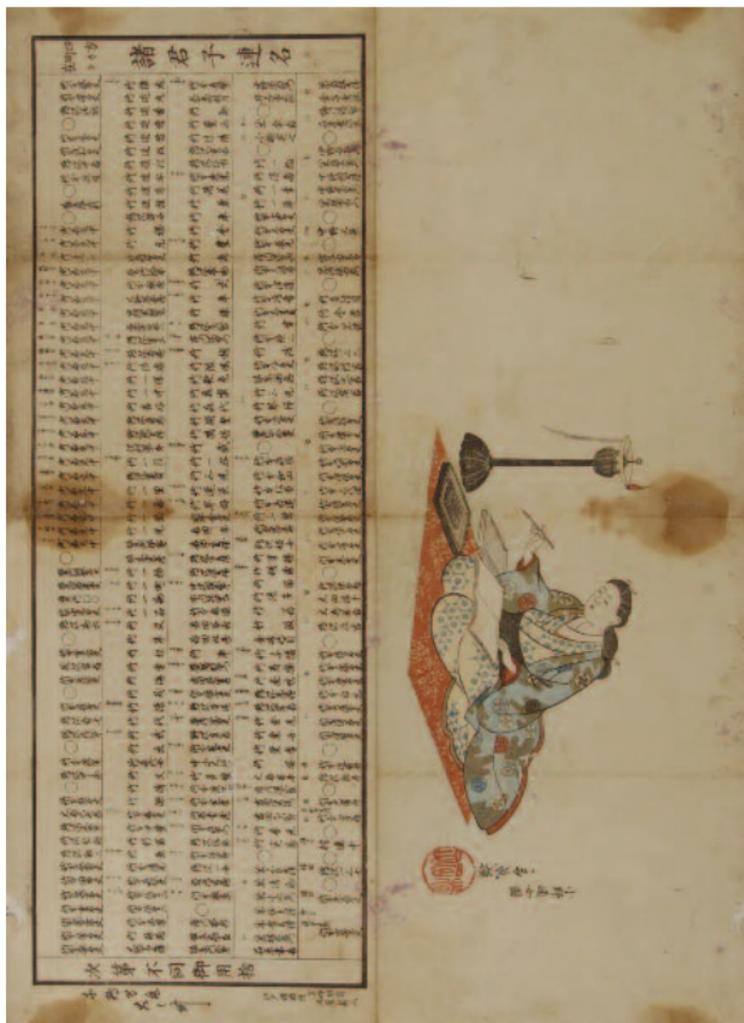
夕顔亭
元來編



一八 伊勢崎連淨瑠璃ノ摺物
— 小野通女圖 / 玄魚模。

三八×五二 江戸末期刊
江戸摺物所 / 芝神明前 / 丸屋甚八。

一枚 三五、〇〇〇



一九 續々天之御柱

―背ニウマクイ

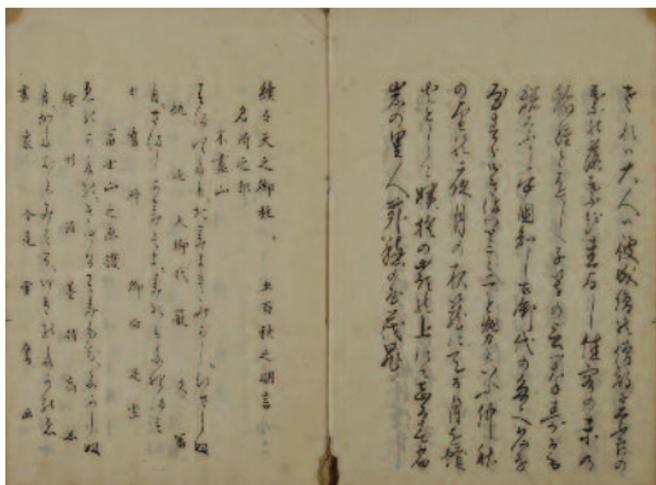
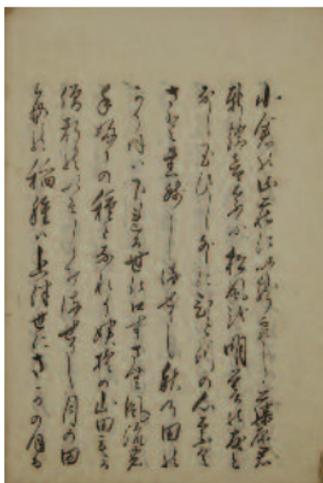
籤 五百秋之明言著

下方染ミ

安政二年序刊

半一冊

五、〇〇〇



二〇 柳汀詩存清書原稿

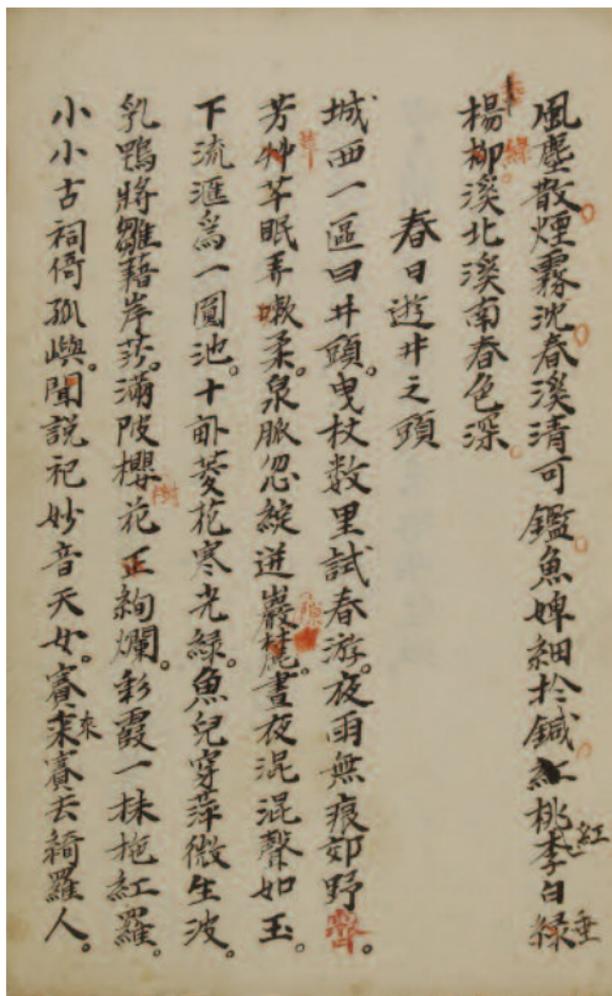
半一册 一〇〇、〇〇〇

馬場柳汀著。昭和七年ノ刊本添。編輯兼發行者ノ豐橋市ノ谷野駿。印刷者ノ豐橋市ノ藤田庄太郎。東三河豐橋ノ漢詩人トオモワレル柳汀馬場ノ自筆清書原稿。朱墨ノ訂正ハ全テ刊本ニ反映サレテイル。活字ノ大キサト字詰メノ指定アリ。刊本ハ康熙綴デ函入。 一三頁參照

風塵散煙霧沈春溪清可鑑魚婢細於鍼桃李日綠
楊柳溪北溪南春色深

春日遊井之頭

城西一區曰井頭曳杖數里試春游夜雨無痕却野聲
芳艸芊眠弄嫩柔泉脉忽綻迸巖麓晝夜混混聲如玉
下流滙為一圓池十畝菱花寒光綠魚兒穿萍微生波
乳鴨將雛藉岸莎滿陂櫻花正絢爛彩霞一抹拖紅羅
小小古祠倚孤嶼聞說祀妙音天女來寢來寢去綺羅人



風塵散。煙霧沈。春溪清可鑑。魚婢細於鍼。桃紅李白垂
楊綠。溪北溪南春色深。

春日遊井之頭

城西一區曰井頭。曳杖數里試春游。夜雨無痕郊野霽。
芳草芊眠弄嫩柔。泉脈忽綻迸巖隙。晝夜混混聲如玉。
下流匯爲一圓池。十畝菱花寒光綠。魚兒穿萍微生波。
乳鴨將雛藉岸莎。滿陂櫻樹花絢爛。彩霞一抹掩紅羅。
小小古祠倚孤嶼。聞說祀妙音天女。賽來賽去綺羅人。

柳汀詩存



柳汀先生像

柳汀詩存

卷之二

其意發矣以前文詩手刷刷功竣乃弁一言
千卷音

昭和六年秋八月於東京行齋

雲桐放馬撰

例言四則

一大正癸亥九月一日關東地大震。拉火回發。延燒三
日。帝御大半為焦土。第二日晡時。余寓居亦為山災
所燒。幸得遺書。寶刀共箱。書畫。余詩稿亦無殘存。
此卷不能載發。以前文詩由之也。
一余老矣。詩思。減。且。憂。患。心。願。嘗。讀。書。偶。來。悲。賦
詩。直。抒。胸。臆。耳。得。隨。錄。不。問。巧。拙。也。
一余性有浮瀆之癖。前已愈。二女一燈。四時行樂。光

序

柳汀馬場翁。今茲辛未。齡躋八秩。前諸子曾
謀。復共評。為一卷。欲刊之。以致祝壽。之至。愧
屬。余。等。窮。實。不。知。狡。齋。先生。家。子。也。其。詩。思
含。通。運。篤。其。胸。日。月。露。風。雲。以。至。世。故。人。事
凡。動。於。心。感。於。情。考。一。於。詩。為。發。之。居。然。先
生。之。衷。法。也。願。先生。之。在。世。也。鶴。鳴。吟。社。一
時。極。其。盛。吟。社。之。名。噴。噴。于。當。時。今。也。諸。同

卿亦無休息之暇。何幸。餘。為。高。而。身。健。放。翁。有。句
曰。天。街。登。履。數。清。質。余。之。謂。也。

一此卷諸家批點評語一併除去。蓋校簡矣。非有意
也。

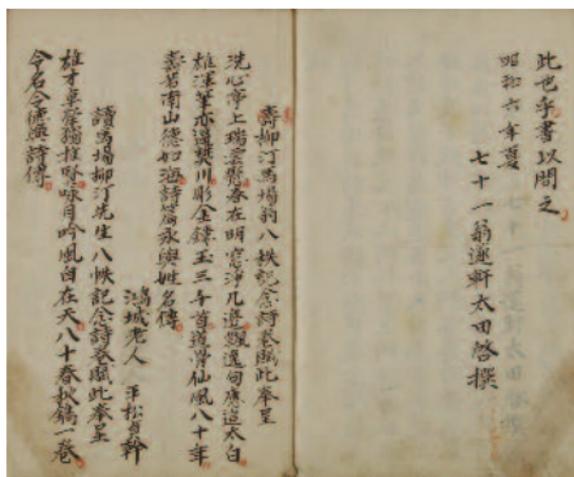
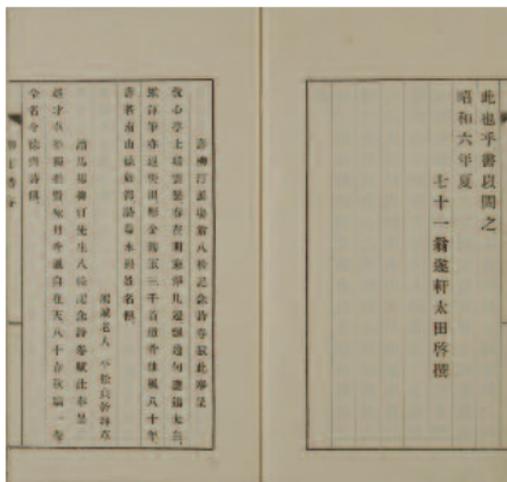
柳汀識

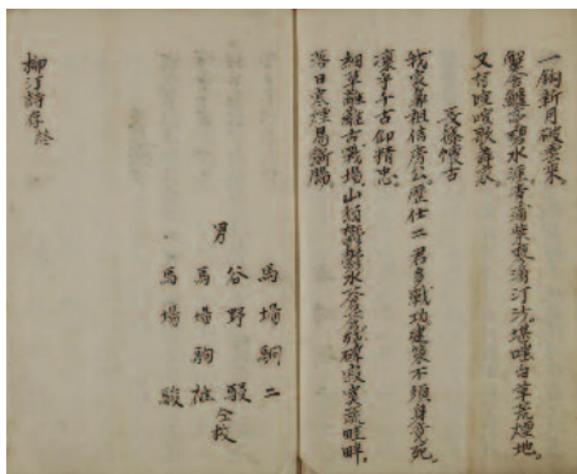
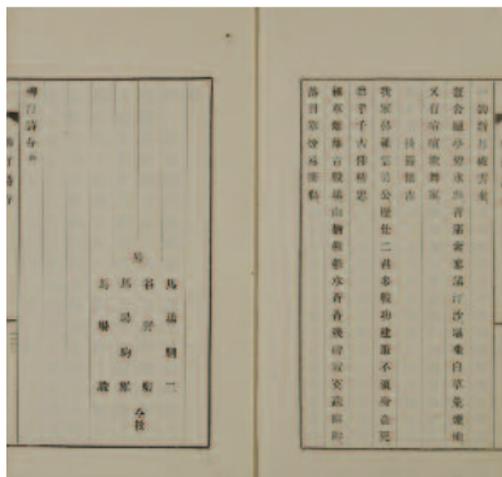
癸亥

馬場初柳汀著

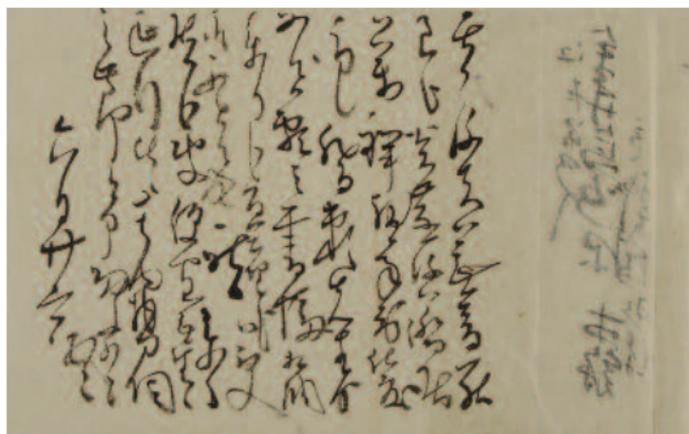
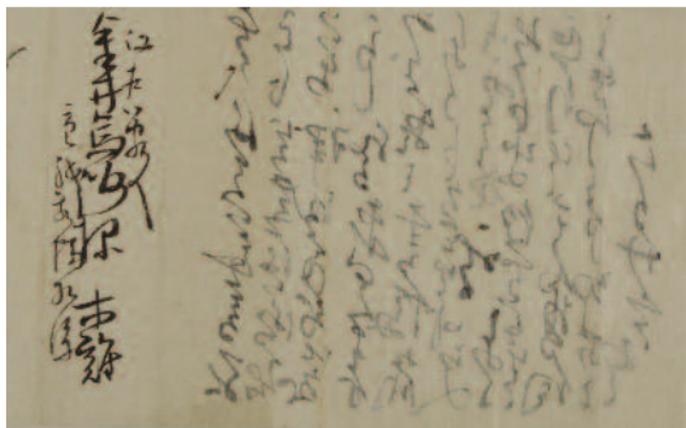
震火大災紀事

地動轟然。草干天崩。聞處。處處。災。燬。天都。大。事。皆。焦。土。
烈。火。不。休。二。日。連。
諸。國。起。星。霜。亂。狂。之。聲。災。莫。不。可。言。亦。日。失。光。如。何。矣。





二 木鶏書簡 江戸御家人／金井烏洲宛

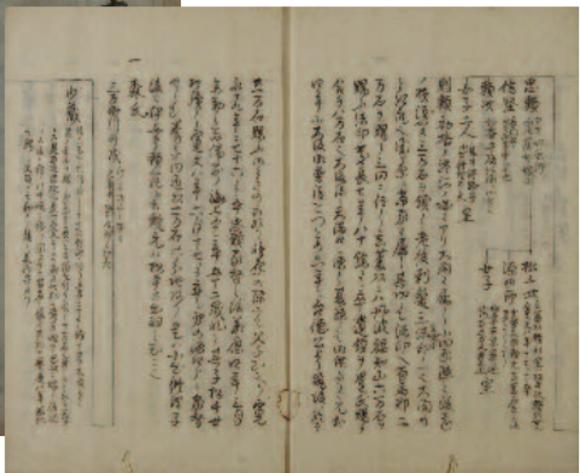
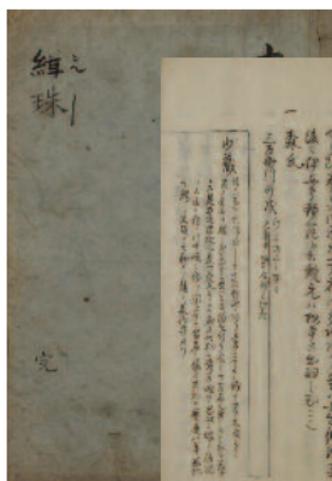


緝珠

信列小縣郡下之今三所防江之河之由信玄郵書之寫
敬白願書

言由今頂礼下御所方信作大相神曰
酒景則信玄御御年書漲る今信我
引不吉凶預上向由座人具祥由九二之
者弄也 任是原物也神 弄弄之者應天勝興
和軍則如信玄存不勝勝利加之長尾
景虎忽進北消亡者保作下之御
為祈之保者之神以也私奏凱到
均家安泰之日信已未歲始之了

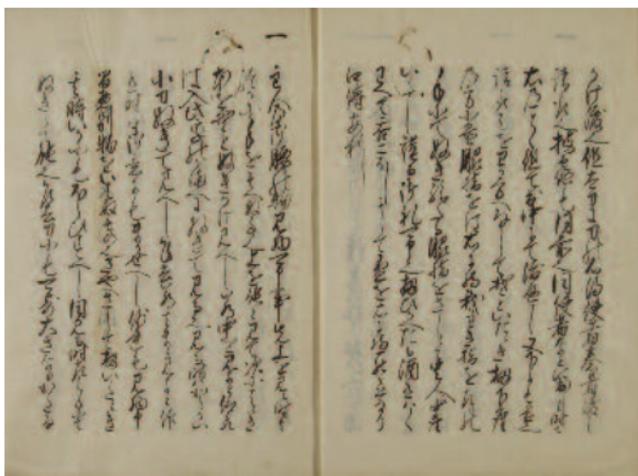
尾



二三 騷方書 一・二

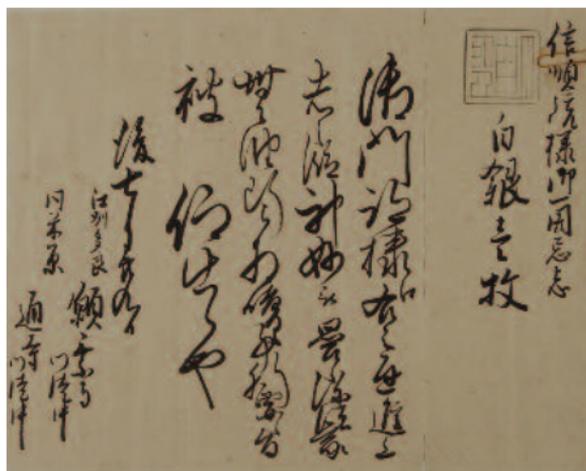
— 信州松代藩月岡氏舊藏本。首尾ヤヤ虫多。

寫本六二丁 江戸末寫 大二冊 三〇、〇〇〇

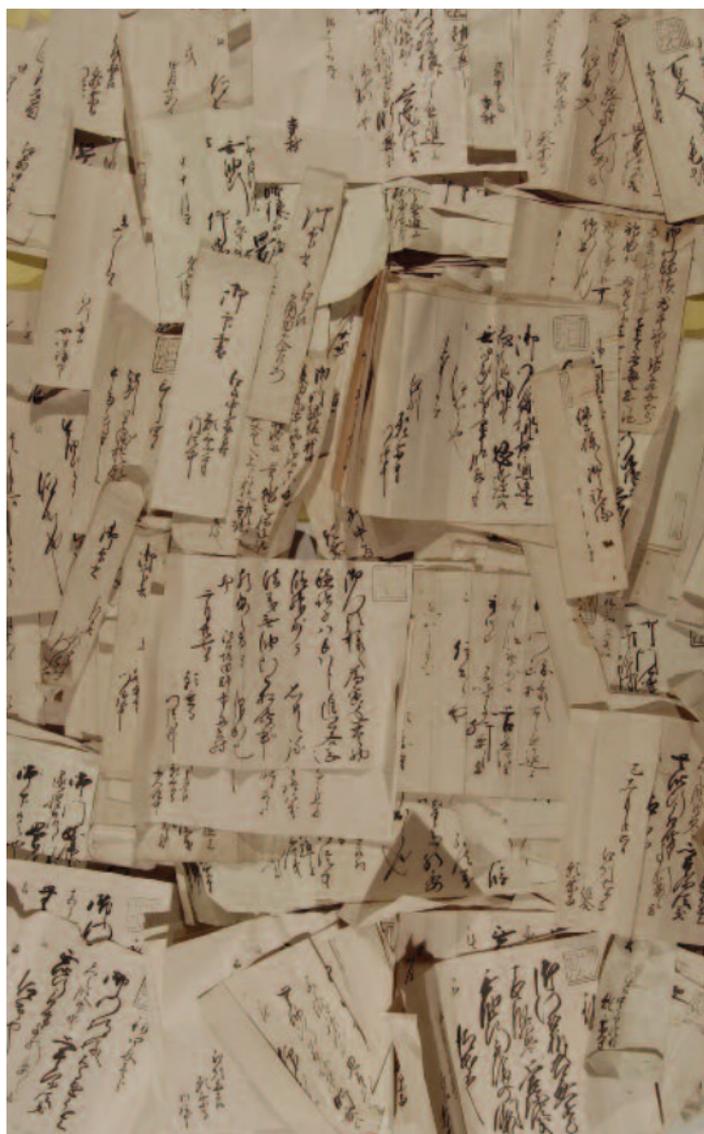


二四

江州米原中多良村寺院文書
— 江戸後期。文書八全テ烏ノ子紙。



凡ソ二〇〇通一括 六〇、〇〇〇



二五

越後名所誌／頸城郡 上下巻

越後名所誌補遺上下巻／頸城郡

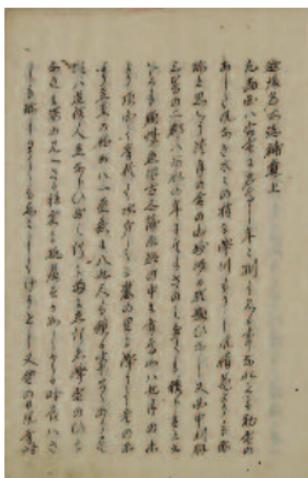
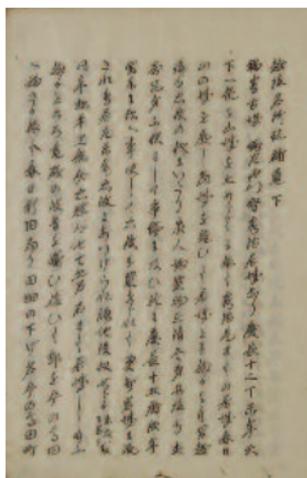
補遺ハ元合本。著者不明。『國書』ニヨレバ寛政四年以後トスル。刊本ハ存在セズ越後名所誌ト題スモ頸城郡ノミ。

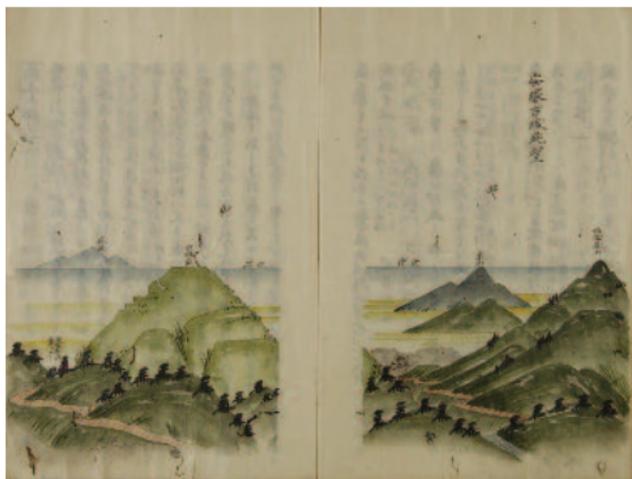
江戸末期寫

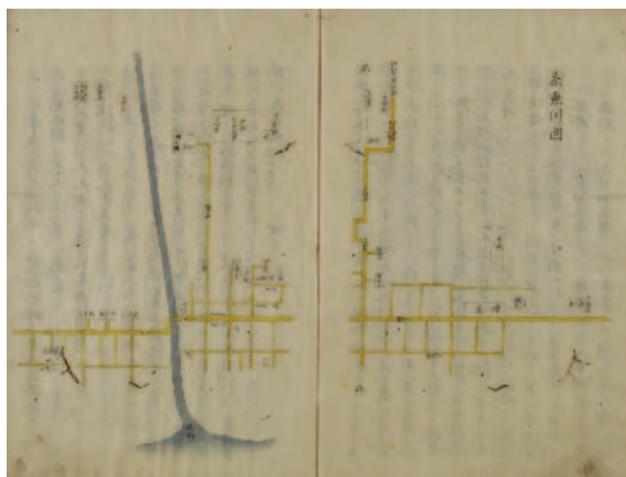
大三冊

一五〇、〇〇〇

二〇〇二五頁参照







二六 袖玉御江戸繪圖

簽 六四×九一 寶曆九年刊 一舖 二〇、〇〇〇

筆備／原應子感圖。彫工／岡本現次郎。御書物師／江戸日本橋通壹町目／出雲寺和泉掾藏板。内題「再御江戸繪圖新板校正」。手彩色。少虫。

一九頁參照



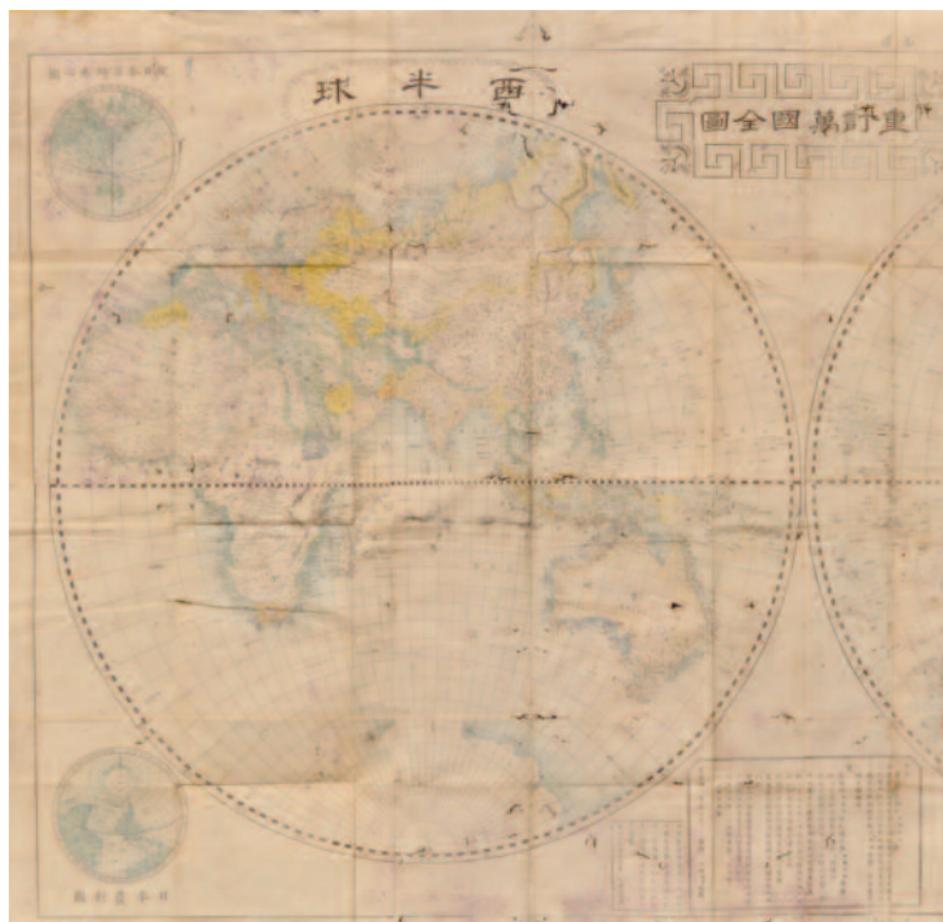
二七 重訂萬國全圖

極大一舖 二五〇、〇〇〇

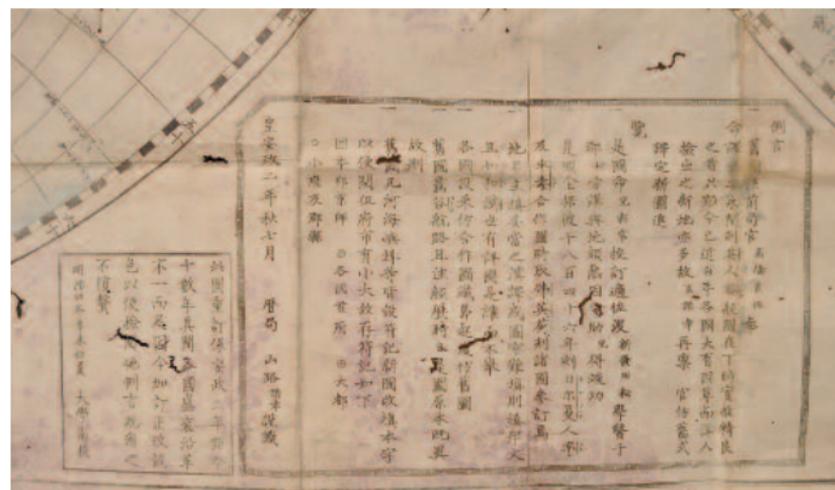
— 例言 — 「舊圖係前局官／高橋景保／奉」。皇安政二年秋七月／曆局／山路諧孝識。明治四年辛未初夏／大學南校。右上隅ニ「文部省」小朱印。木版彩色摺。一〇八・五×一八九・五糎。超大形世界圖。原裝原題簽附。少虫。少々蒸レアリ。

一八・七二・七三頁參照

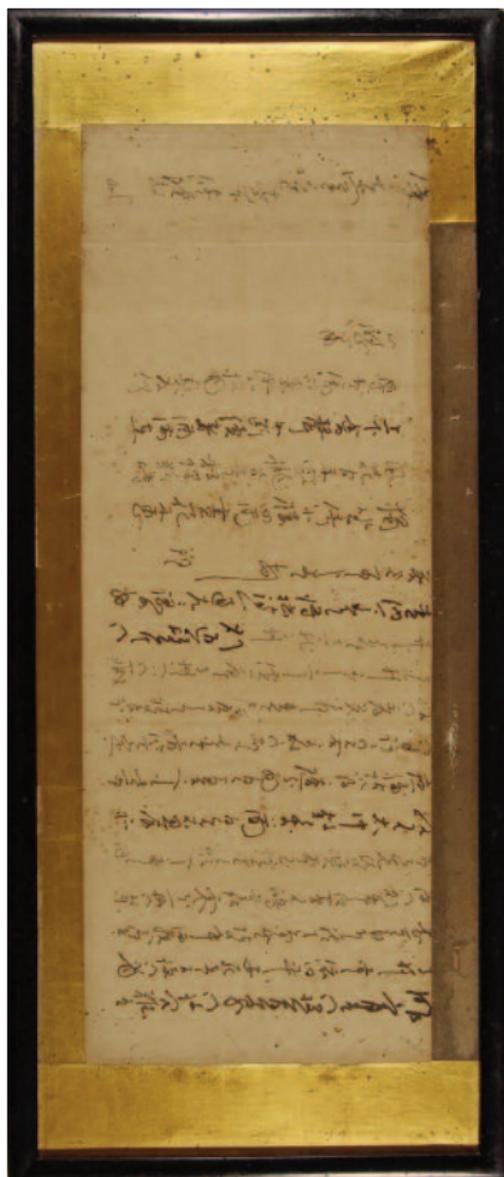








二八 佐久間象山書簡遍額
— 漢詩文添。書簡ノ記名ハ通稱ノ「修理」。遍額ノ大キサ二六×六一。
一面 一〇〇、〇〇〇



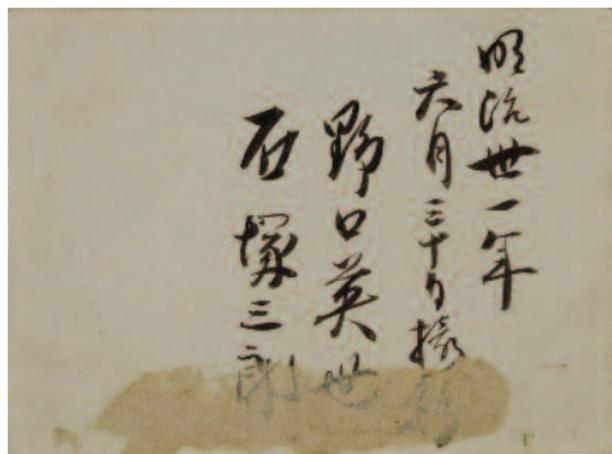
野口英世宛書簡及寫眞他關係資料

一括 八〇〇、〇〇〇

―石塚三郎舊藏。書簡葉書凡ソ三〇通。寫眞二六枚ノ内、野口英世ニ直接關係スル寫眞ハ一〇枚。野口英世ノ掲載新聞ノ切り抜き五枚。野口英世記念館關係資料數点。野口英世レリーフ(二〇×一三)一点。

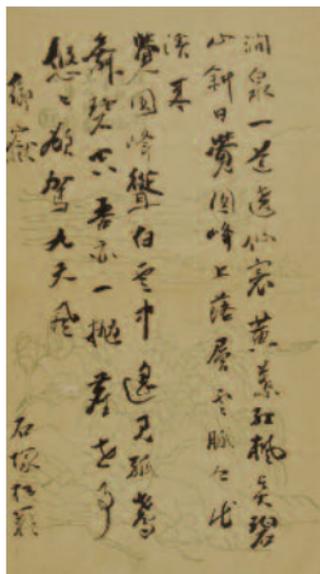
コノ資料ノ舊藏者ハオソラク野口英世ノ親友ノ石塚三郎デアアル。新潟ノ北蒲原出身ノ石塚ハ父親ガ仕エタ旗野家(吉田東伍ノ生家)ニ奉公シ、吉田東伍ノ實兄旗野餘太郎カラ英語、漢文、測量法ナドヲ學ンダト云ウ。明治廿六(一八九三)年旗野餘太郎ノ命ニヨリ醫師ノ資格ヲ目指シテ上京スルモ病ヲ患イ斷念シテ一時歸郷。新潟デ齒科醫師中村勇三郎ノ門下ニ入り義齒ノ技術ヲ専門ニ學ンデ明治廿九(一八九六)年再上京、當時唯一ノ齒科専門學校ダッタ高山齒科醫學院(現・東京齒科大學)ヘノ入門ヲメザスモ容易ニ受ケ入レテモラエズ吉田東伍ノ借家ニ居候シテ吉田ノ地名辭書原稿ノ清書ヲ手傳ウナドシナガラ時機ヲ待ッタト云ウ。ソノ際同學院の學僕トシテ住ミ込ンデイタ野口清作(英世)ト運命的ナ出會イヲハタシ意氣投合シタ。「明治三十一年六月三十日撮影」ノ裏書キノアル二人ノ寫眞ハ未ダ出會ツテ間モナイ頃ノ寫眞デアロウ。

本資料ハ大正四年五月ニ石塚ガ米國デ活動中ノ野口ニ、母(シカ)ノ容體ヲ按ジタ有名ナ手紙ト寫眞家デモアッタ石塚ガ自ラ撮ッタ母ノ接寫ト猪苗代ノ風景寫眞ガ届イテ急遽歸國シタ際ノモノ。野口ノ生家デ撮ッタ



トオモワレル母（シカ）ノスナップ寫眞モ撮影者ハ石塚デアロウカ。
野口ハ帝國ホテルニ滞在シ、ソノ際ニ届イタ書簡ナドヲ石塚ガ引キ受ケ
テ保管シテイタト考エラレル。野口ノパトロソニアッタ血脇守之助ニ尼
子四郎ガ送ツタ野口ニ敬意ヲ示ス書簡ナドモアル。



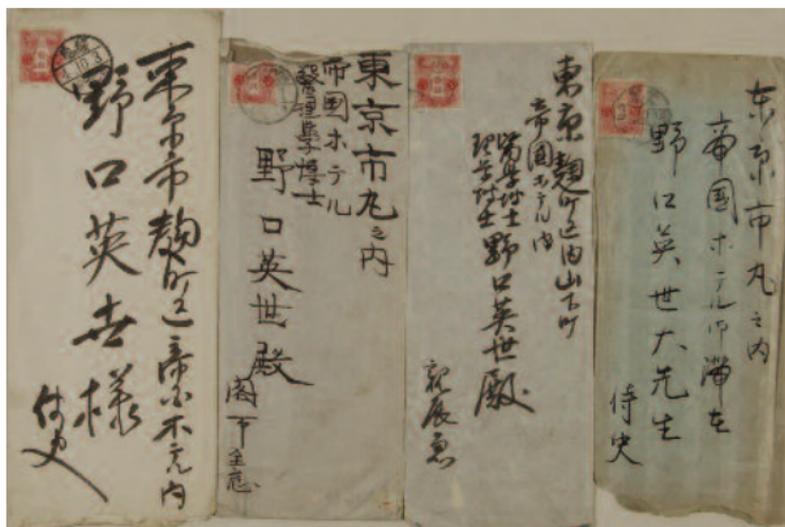


神田三崎町
 東京市神田区
 血脈先生
 漢

省式某侯
 鄂口博考
 意を表し
 大い
 報誌
 冊差出

今及行
 望可改
 漢名
 以酒
 以秋
 九月
 血脈先生
 漢





伊豆博士の事ありては
 予が父の心もくや
 揚をくく親や行らば杖笈も
 大木にーもくく改しゆも

男爵 佐藤 進

男爵 石黒 忠 應

東京伊予に
 明治十七年

伊豆博士の事ありては
 予が父の心もくや
 揚をくく親や行らば杖笈も
 大木にーもくく改しゆも

伊豆博士の事ありては
 予が父の心もくや
 揚をくく親や行らば杖笈も
 大木にーもくく改しゆも

伊豆博士の事ありては
 予が父の心もくや
 揚をくく親や行らば杖笈も
 大木にーもくく改しゆも

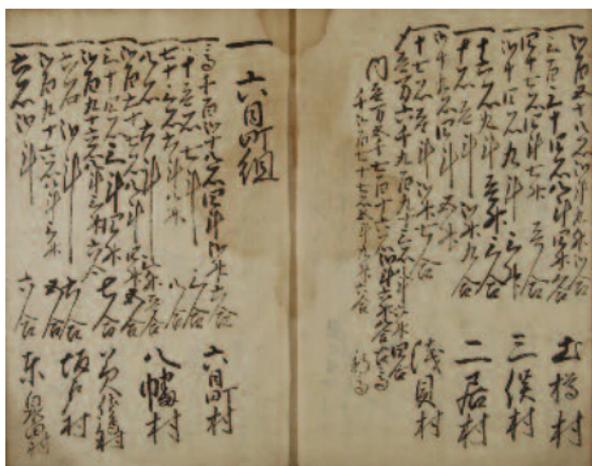
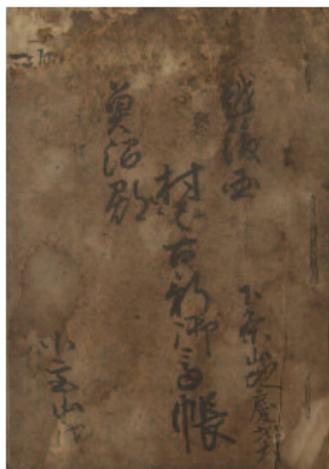
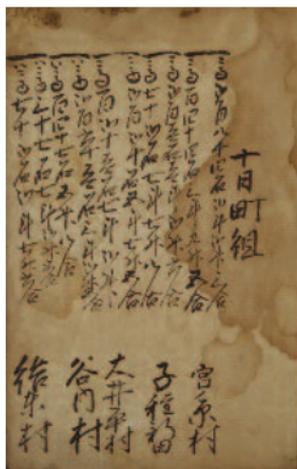


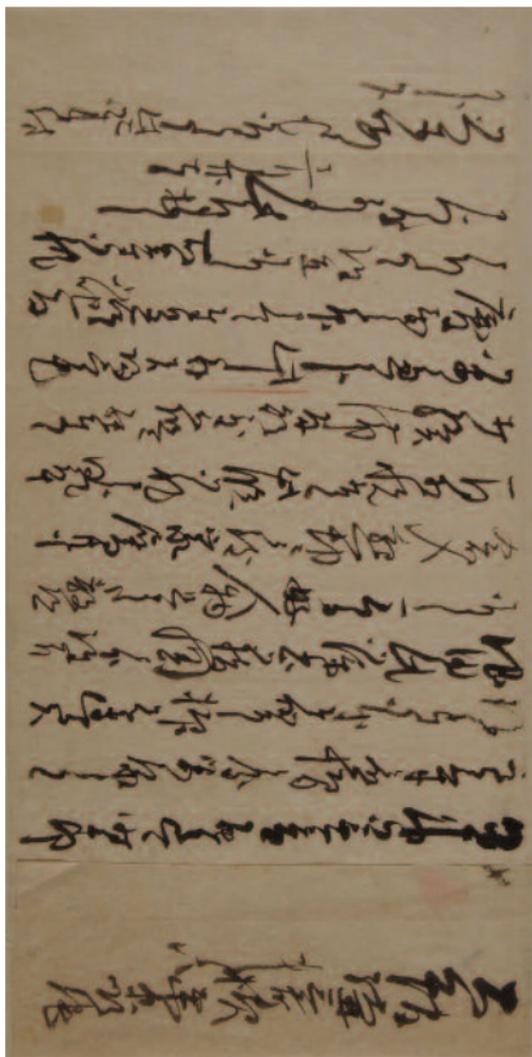
三〇

越後國村々古新御高帳
魚沼郡村々古新御高帳
下條山地慶地村

寫本三四丁

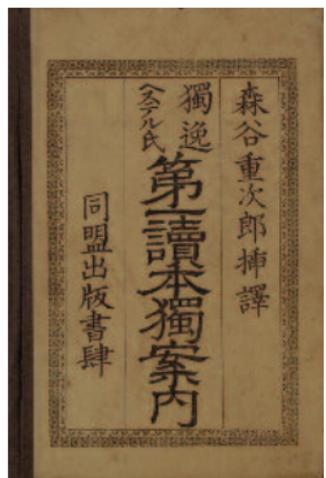
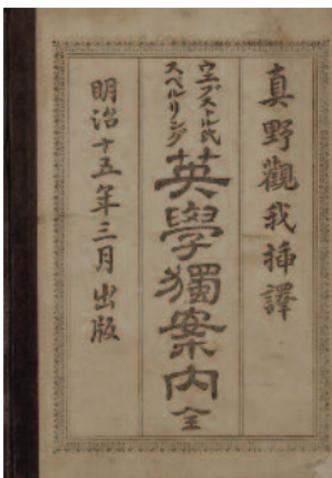
文化一二年二月 極大二冊 二〇、〇〇〇





三二 栗原順庵書簡
— 伊勢崎藩醫。尊王志士デ新田勤王黨ノ大館謙三郎宛
多紀元堅門。

一通 二〇、〇〇〇



三五	三四	三三	三二
ヘ	ウ	赤	牛
ス	エ	痢	痘
テ	ス	病	新
ル	ト	學	論
逸	ル	氏	
氏	英	ボ	角
第	學	ール	倉
一	獨	表	賀
讀	案	紙	道
本	內	竹	著
獨	案	中	
案	內	成	東
內	案	憲	京
		半	牛
		田	痘
		屋	館
		醫	藏
		籍	版
		明	明
19	15	34	25
四	四	四	四
六	六	六	六
判	判	判	判
五	五	六	五
〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇

三七

商貼外和通韻便寶 箴

寶善堂主人序刊

安政七年序

大ニ冊 四五、〇〇〇

倭字／卷菱湖先生書。

竹堂小原先生校。

裏表紙墨書。

本文中ニモ墨書ア



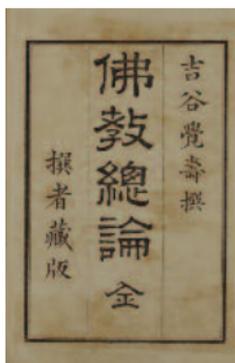
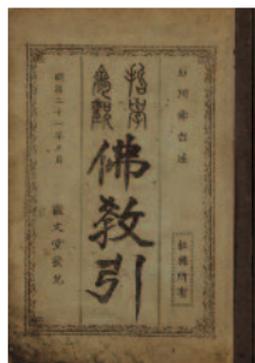
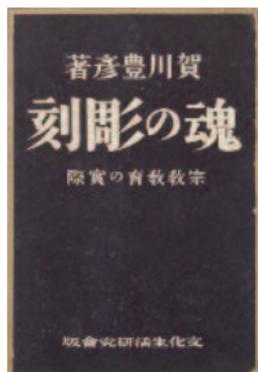


也

安政戊午夏所被許貿易之新
 港有數家為使出張其境商賈
 等知覺彼五國通用文字就阿
 蘭陀コンシエラフロード以令書彼國
 文字添卷大任所書之國字于
 其傍而上本者寶善堂主人意

卷之紀識

nga	ガ	ga	ガ	za	ザ	ba	バ
ngi	ギ	gi	ギ	ji	ジ	bi	ビ
ngu	ク	gu	ク	dsu	ズ	bu	ブ
nge	ケ	ge	ケ	ze	ゼ	be	ベ
ngo	コ	go	コ	zo	ゾ	bo	ボ



三 八	耶蘇敎の無道理 第一編	藤島了穩著	明 14	中一册	五〇〇〇
三 九	耶蘇敎の無道理 第二編	藤島了穩著	明 14	中一册	五〇〇〇
四 〇	引新約全書 詩篇附 初版	クロース バプテスト敎會	明 45	文庫判	一五〇〇〇
四 一	天地人 初版	松村介石著 警醒社支店	大元	四六判	五〇〇〇
四 二	魂の彫刻 宗教教育の實際 初版	函賀川豊彦	大元	四六判	五〇〇〇
四 三	佛敎總論	吉谷覺壽撰	明 15	四六判	四〇〇〇
四 四	哲學佛敎引	ポール表紙 石川舜台述 觀文堂	明 21	四六判	一〇〇〇〇